

「市民と野党の議席」継承を

羽田次郎さんが元気に遊説に出発

長野駅前「出陣式」に200人が参加



集まったみなさんにあいさつする羽田次郎さん



羽田次郎さんの第一声



信州市民アクションからは小池瑞恵さんがあいさつ



立憲民主党幹事長の福山哲郎さんが同乗して遊説へ



出陣式には、約200人の市民と多くの報道陣が集まった。

「小さな声、声なき声を国政に届けたい」

市民と野党の統一候補・羽田次郎さん第一声



立憲民主党公認、市民と野党の統一候補、羽田次郎と申します。

2019年、兄が参議院通常選挙に出たとき、ちょうどここで喋る兄の演説を聞いておりました。チルドレン・ファースト、子どもたちの未来が、安心して安全で、そして平和であると強く訴え、多くの皆様からご期待を頂き、長野県民そして国民の代表として5度目の国政へ送らせて頂きました。その兄が目指した政策を何として

も実現しなければならない。その思いで今度の補欠選挙に立候補いたしました。兄が命を落としてから3カ月、多くの皆様のご弔意を下さり、私が兄の跡を継ぐ決意をして2カ月あまり、77市町村を歩いて回るなかで、多くのさまざまな声を聞くことができました。

例えば、子どもたちに食料を配給する活動をしているグループの方から、大学に通っている学生たちが明日の食事に困って1時間も列をつくっているという話を聞きました。若者たちに自己責任を押し付ける。そんな政治でいいのでしょうか。

この間、森元首相の女性蔑視発言などもありました。私が今回、立候補を決意するにあたって、「どうして奥さんは付いて来ないんだ？」という声もありました。「妻は自分で仕事をしており、娘もまだ中学生。男が決めたことに女性が付いていかなきゃいけない。それでは森さんと言っていることがあんまり違わないんじゃないですか？」と問い質すと、多くの方は「まったくその通りだ」と言ってくれます。

女性で、結婚するとき、夫の名前を名乗ることが、大きな壁となり、結婚を躊躇した話を聞きました。自分自身のアイデンティティが失われてしまうんじゃないかと不安になり、今も不安を持っている、と。95%以上の方が夫の氏を名乗ります。私たちの根底に、女

性は男性に付いていくべきだ、そういった意識を植え付けてしまっているんじゃないかと思います。もし私を国政に送り出して頂けたなら、若者たち、女性たち、そして多様な思いを持つ方たちの代弁者になりたいと思います。

兄は「チルドレン・ファースト」と言い、子どもたちの未来のことを訴えてまいりました。多くの国民の皆様からご期待をお寄せ頂きました。私もしっかりと受け継いでまいります。そして、「スモールボイス・ファースト」、小さな声、声なき声、今のこの社会で生きづらいと思っている、そういった声を、一つ一つ伺いながら、国政の場に届けていく仕事をしてまいりたいと思っております。

昨年4月、新型コロナの緊急事態宣言が発出されて、冬にはもっと大勢の感染者が出る、死者が出る、そんなことはもう専門家会議で聞くまでもなく、誰もが思っていましたし、当然、政府もそれを予測していました。にもかかわらず、すでに第4波が日本中に押し寄せてきています。ワクチンがいつまで経っても届かない、そんな不満や不安を持っている方、大勢いらっしゃると思います。私は何よりも、誰もがすぐにPCR検査を受けられ、自分が陽性か陰性か、はっきりわかれば、人にうつすこともない、そして自分自身もしっかりとした医療を受けられる、その体制づくりをめざします。そして、コロナ陽性になったことで、仕事を休まなければならない、育児ができない、経済的な大きな負担を強いられる、その時にしっかりと補償や給付を行う必要があります。自分がコロナの陽性であることを隠さず、体を休め、治療を受けて、再び社会に戻ってこられるようにします。陽性で体調が悪くなった人たちに白い眼を向けることなく、笑顔で「おかえり、これからもがんばろう」と、帰ってくる人も笑顔で「ただいま」と言える社会にしなければなりません。今の政府にはそれができていません。

兄に頂いた大変重要な議席を、私は何があっても勝ち取らなければならないと決意しています。私を国政の場へ、皆様お一人お一人の代弁者として働かせていただけるよう、心からお願い申し上げます、立憲民主党公認、市民と野党の統一候補、羽田次郎の第一声とさせていただきます。

信州市民アクション

- ◆戦争をさせない1000人委員会・信州
長野市県町532-3 電話 026-234-2116 FAX234-0641
- ◆憲法9条を守る県民過半数署名をすすめる会
長野市県町593 電話 026-234-2216 FAX234-2219